

デザインをめぐる知の構築と社会的理解に向けて

近年、社会課題の解決をめぐる議論において、「デザイン」というキーワードが重要視されています。デザインは、物理的な空間やモノの造形にとどまらず、システムや人と人との関係性といった不可視な領域にまで広がり、さまざまな文脈で活用される概念となっています。しかし一方で、デザインは依然として「形態意匠上の付加価値」として矮小化され、特に公共分野においてその重要性が十分に理解されていない現状があります。

本シンポジウムでは、デザインの概念と意義を広く俯瞰するとともに、地域社会に生きる人々のエンパワーメントを支える環境、空間、インフラの創造におけるデザインの役割を再検討します。さらに、デザインが持つ知としての価値を探り、その社会的理解を深めるための議論を展開します。

2025年6月6日（金）13：00～17：00

お申込みはこちら
（参加費無料・事前登録制）



<https://forms.gle/oBQgJsZWuvT7vVYF8>

趣旨説明・解題

佐々木 葉（早稲田大学）

芸術文化史学におけるデザイン 近藤 存志（東洋大学）

都市政策におけるデザイン 坂井 文（東京都市大学）

公共調達と都市・土木デザイン 久保田 善明（富山大学）

建築設計の選定について 小野田 泰明（東北大学）

ランドスケープの視点から 片桐 由希子（金沢工業大学）

公共とデザイン 石塚 理華（一般社団法人 公共とデザイン）

総合討論 コーディネーター 佐々木 葉（早稲田大学）